現代日本論演習／比較現代日本論研究演習 II「調査的面接の基礎」

第4講　シナリオの作成

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ]　各自の調査に向けた調査計画とシナリオの作成

1　前回課題について

- 友達の友達を紹介してもらう方法 →雪だるま法（snowball sampling）
- 対象者の集めかたによる偏りを抑えるため、複数のルートで
- 面接の時間をしっかり確保すること。当日の時間がかぎられている場合は、事前にやりとりしたり調べたりして情報を得ておくとよい

2　今回の課題

自分の面接調査に向けたシナリオを作成する。最初に研究の目的、仮説を書くこと。

3　シナリオを書く上で注意すること

- 仮説を検証するのに必要なことは何か
- 対象者との人間関係を築くために必要なこと
- 自己紹介、調査趣旨の説明、録音することの許可
- 時間配分
- 相手の答による枝分かれ

4　次回

次回は各自の調査計画について報告・討論を行います

- 資料を 4 部もってくること
- 資料には、研究の目的、対象者の選定方法、シナリオ案をのほか、必要な情報を含める
- 3–4 人グループで討論

5　今後の予定

各自で計画を作成して、田中の許可を得てから調査を実施する。

適宜経過を報告すること。特に、1 人目のトランスクリプトができた段階で報告にくること